

9. 外国人の就労について

(1) 外国人の雇用状況

(1) これまでに外国人を雇用したことがありますか。(非正規従業員を含む)【1つに○】

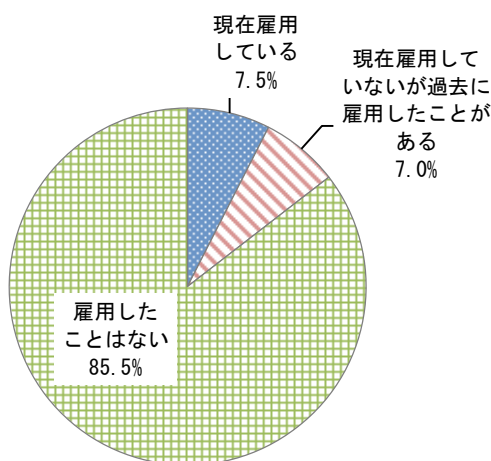
外国人の雇用状況については、「雇用したことはない」が85.5%と最も高く、次いで「現在雇用している」が7.5%、「現在雇用していないが過去に雇用したことがある」が7.0%の順となっている。

業種別でみると、すべての層で「雇用したことはない」の割合が最も高くなっているが、〈宿泊業、飲食サービス業〉では41.5%と他の層より30ポイント以上低く、「現在雇用している」が24.4%と10ポイント以上、「現在雇用していないが過去に雇用したことがある」が34.1%と20ポイント以上、それぞれ高くなっている。

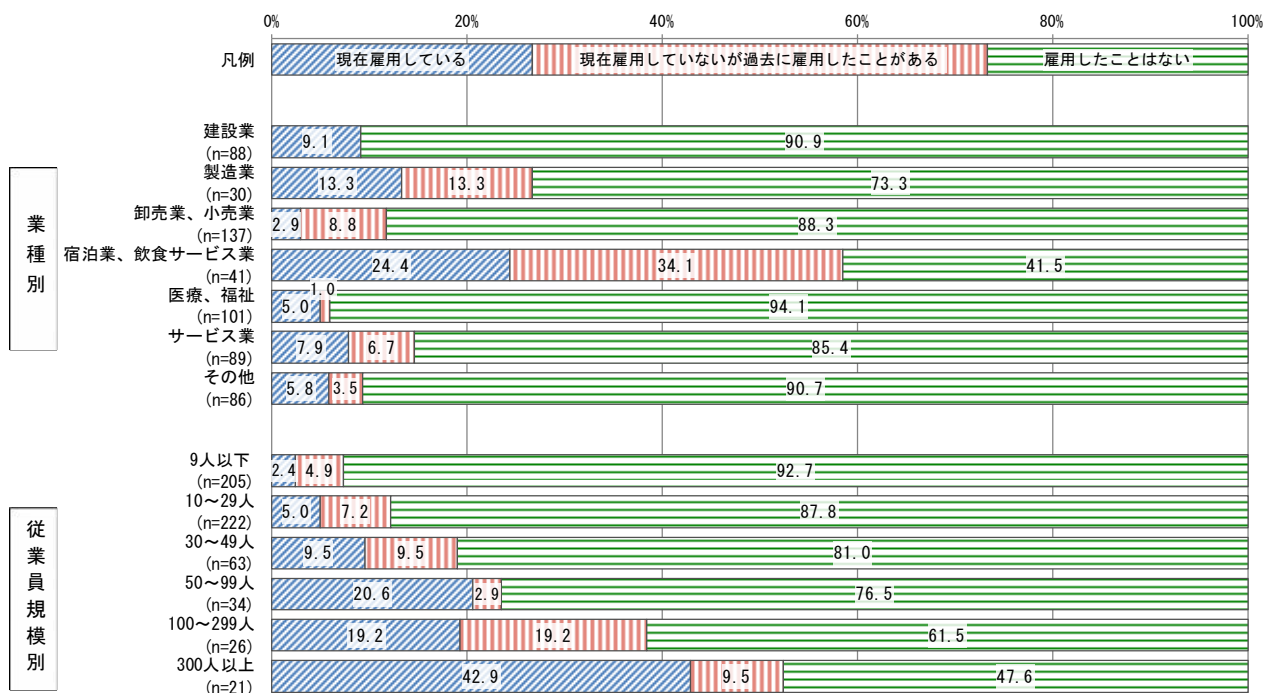
従業員規模別でみると、すべての層で「雇用したことはない」が最も高く、その割合は従業員規模が小さい層ほど高くなっている。

また、「現在雇用している」について〈300人以上〉の層で42.9%と他の層より20ポイント以上高くなっている。

■外国人の雇用状況〔回答数=572〕



【業種別／従業員規模別（外国人の雇用状況）】



(2) 今後の外国人の雇用意向

(2) 今後、外国人を雇用したいと考えていますか。(非正規従業員を含む)【1つに○】

※現在雇用している事業所もご回答ください。

今後の外国人の雇用意向については、「雇用したい」が25.2%、「雇用したいと思わない」が74.8%となっている。

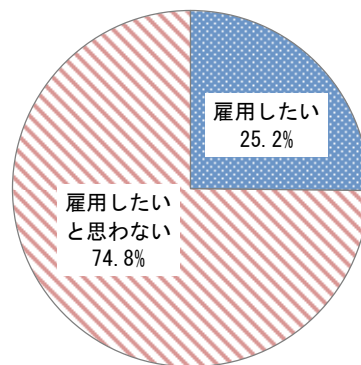
業種別でみると、〈宿泊業、飲食サービス業〉を除くすべての層で「雇用したいと思わない」が7～8割台となっている。

また、〈宿泊業、飲食サービス業〉では「雇用したい」が55.0%と、他の層より25ポイント以上高くなっている。

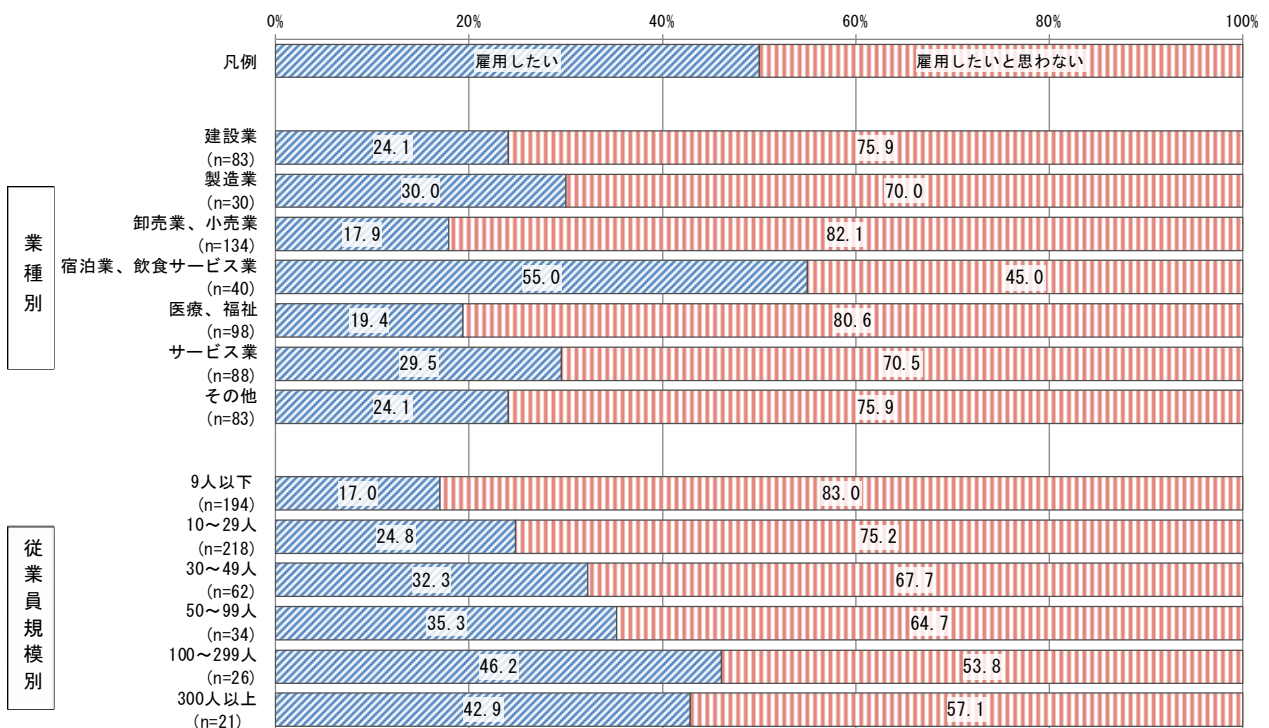
従業員規模別でみると、すべての層で「雇用したいと思わない」の方が高くなっている。

また、299人以下の層では従業員規模が大きい層ほど「雇用したい」の割合が高くなっている。

■今後の外国人の雇用意向〔回答数=556〕



【業種別／従業員規模別（今後の外国人の雇用意向）】



(3) 外国人を雇用するにあたっての課題

(3) 外国人を雇用するにあたっての課題はどのようなものがあると考えますか。

【あてはまるもの全てに○】

外国人を雇用するにあたっての課題については、「コミュニケーションが取りづらい」が53.4%と最も高く、次いで「在留資格など制度の複雑さ」が47.9%、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が39.8%の順となっている。

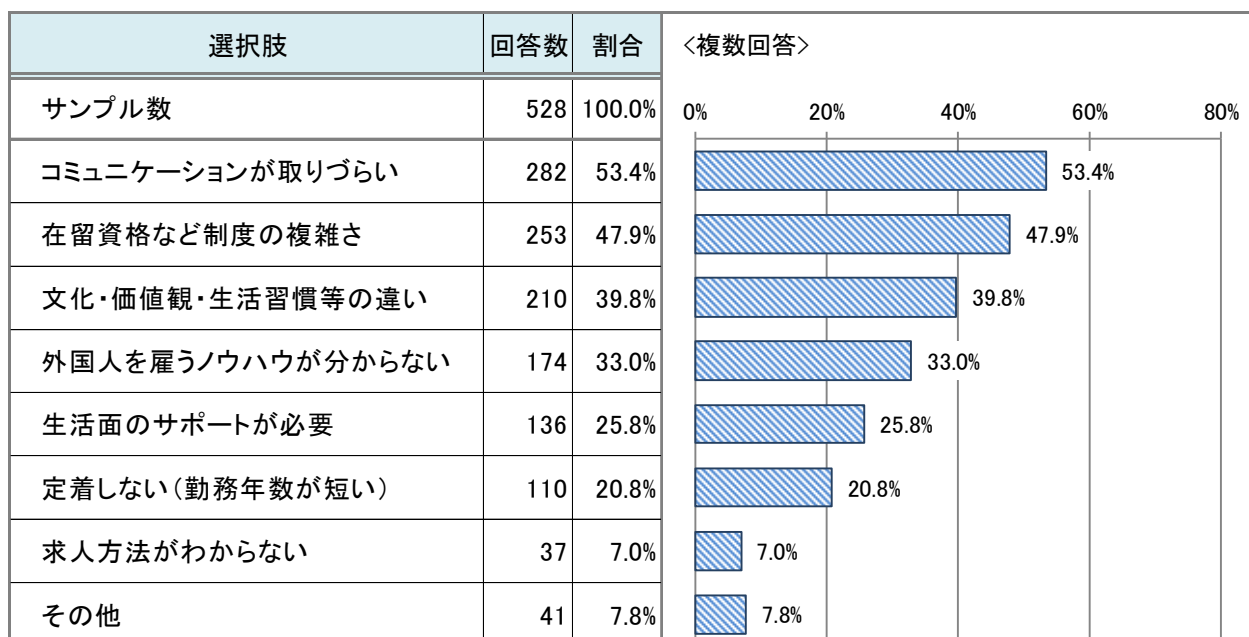
前回調査との比較では、「生活面のサポートが必要」が9.2ポイント、「コミュニケーションが取りづらい」が7.9ポイント、それぞれ増加している。

業種別でみると、〈卸売業、小売業〉を除いたすべての層で「在留資格など制度の複雑さ」、「コミュニケーションが取りづらい」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が上位3位以内となっており、〈卸売業、小売業〉では「コミュニケーションが取りづらい」、「在留資格など制度の複雑さ」に次いで、「外国人を雇うノウハウが分からない」の順となっている。

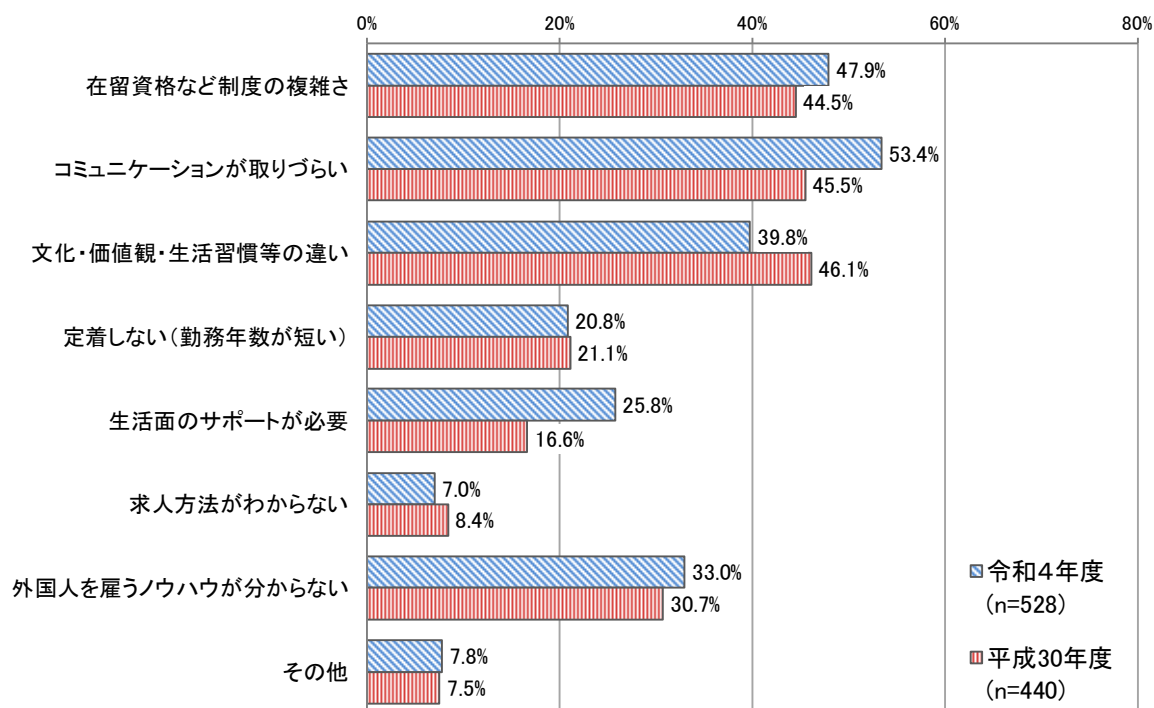
従業員規模別でみると、〈9人以下〉を除いたすべての層で「在留資格など制度の複雑さ」、「コミュニケーションが取りづらい」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が上位3位以内となっており、〈9人以下〉では「コミュニケーションが取りづらい」、「在留資格など制度の複雑さ」に次いで、「外国人を雇うノウハウが分からない」の順となっている。

また、〈300人以上〉の層では「文化・価値観・生活習慣等の違い」が76.2%と他の層より30ポイント以上、「コミュニケーションが取りづらい」が71.4%と10ポイント以上、それぞれ高くなっている。

■外国人を雇用するにあたっての課題〔回答数=528〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人を雇用するに当たっての課題）】

※ ■ は第1位、■ は第2位、■ は第3位の項目

		合計	複雑さ	が取りづらく	習文化等・価値観・生活	数が短い(勤務年)	必要生活面のサポートが	い求人方法がわからない	ウ外国人を雇うノウハウ	その他
			在留資格など制度の	コミュニケーション	の違い	～				
業種別	建設業	78	45	35	31	19	29	4	28	4
		100%	57.7%	44.9%	39.7%	24.4%	37.2%	5.1%	35.9%	5.1%
	製造業	29	14	13	16	9	11	3	7	2
		100%	48.3%	44.8%	55.2%	31.0%	37.9%	10.3%	24.1%	6.9%
	卸売業、小売業	124	61	73	40	30	33	8	48	4
		100%	49.2%	58.9%	32.3%	24.2%	26.6%	6.5%	38.7%	3.2%
	宿泊業、飲食サービス業	38	18	21	15	10	6	1	5	2
	100%	47.4%	55.3%	39.5%	26.3%	15.8%	2.6%	13.2%	5.3%	
従業員規模別	医療、福祉	94	39	59	33	12	23	8	28	11
		100%	41.5%	62.8%	35.1%	12.8%	24.5%	8.5%	29.8%	11.7%
	サービス業	83	36	41	39	19	20	8	26	11
		100%	43.4%	49.4%	47.0%	22.9%	24.1%	9.6%	31.3%	13.3%
	その他	82	40	40	36	11	14	5	32	7
		100%	48.8%	48.8%	43.9%	13.4%	17.1%	6.1%	39.0%	8.5%
	9人以下	179	82	96	58	36	38	17	65	15
	100%	45.8%	53.6%	32.4%	20.1%	21.2%	9.5%	36.3%	8.4%	
10～29人	210	102	106	84	45	56	13	70	15	
	100%	48.6%	50.5%	40.0%	21.4%	26.7%	6.2%	33.3%	7.1%	
30～49人	61	34	32	28	12	20	5	22	7	
	100%	55.7%	52.5%	45.9%	19.7%	32.8%	8.2%	36.1%	11.5%	
50～99人	32	13	19	14	7	9	2	11	2	
	100%	40.6%	59.4%	43.8%	21.9%	28.1%	6.3%	34.4%	6.3%	
100～299人	24	11	14	10	4	7	0	3	0	
	100%	45.8%	58.3%	41.7%	16.7%	29.2%	0.0%	12.5%	0.0%	
300人以上	21	10	15	16	5	5	0	3	2	
	100%	47.6%	71.4%	76.2%	23.8%	23.8%	0.0%	14.3%	9.5%	

(4) 外国人の在留資格別構成

外国人の雇用人数を在留資格別にご記入ください。【数字を記入】

外国人の在留資格別構成については、「技能実習」が53.7%と最も高く、次いで「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が16.7%、「専門的・技術的分野の在留資格」が13.8%の順となっている。

性別構成については、「男性」が36.9%、「女性」が63.1%となっている。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「技能実習」が最も高くなっている。

また、〈男性〉では「専門的・技術的分野の在留資格」が25.3%と〈女性〉より18.3ポイント高く、〈女性〉では「特定技能」が10.2%と6.2ポイント、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が18.8%と5.5ポイント、それぞれ〈男性〉より高くなっている。

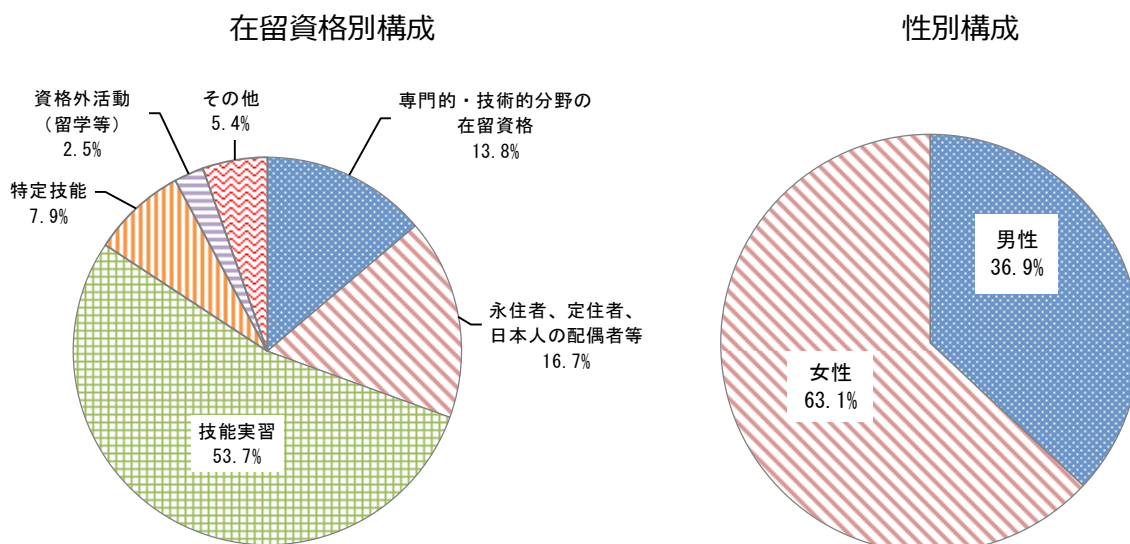
業種別でみると、サンプル数が限られるが、〈宿泊業、飲食サービス業〉で「特定技能」が、〈その他〉で「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が、それ以外の業種で「技能実習」が、それぞれ最も高くなっている。

特に、〈製造業〉では「技能実習」が90.5%と他の層より34ポイント以上、〈宿泊業、飲食サービス業〉では「特定技能」が35.7%と19ポイント以上、〈その他〉では「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が75.0%と42ポイント以上それぞれ上回っている。

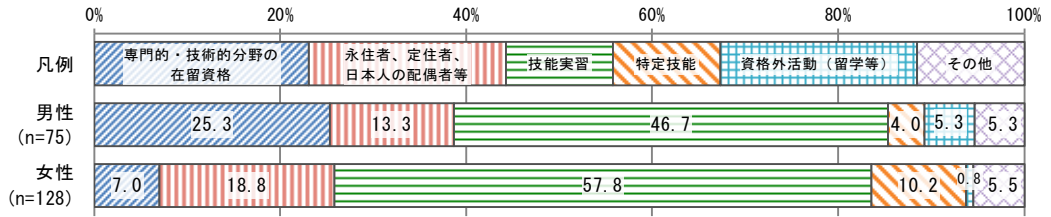
従業員規模別でみると、〈9人以下〉で「その他」が、10～49人の層と〈300人以上〉で「技能実習」が、〈100～299人〉で「特定技能」が、それぞれ最も高くなっている。

特に、〈300人以上〉の層では「技能実習」が79.6%と他の層より25ポイント以上高くなっている。

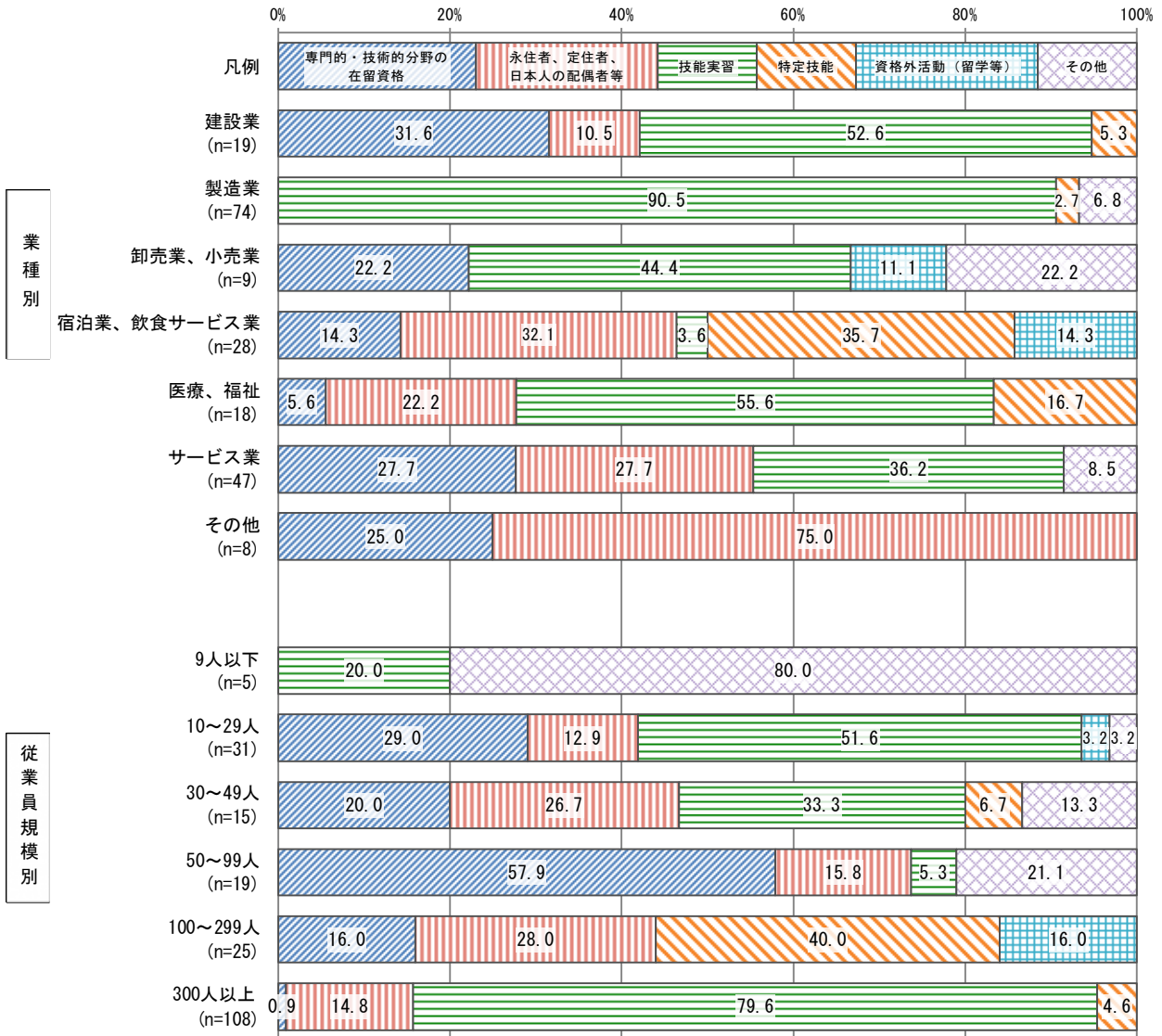
■外国人の在留資格別構成〔対象数=203、回答数=37〕



【性別（外国人の在留資格別構成）】



【業種別／従業員規模別（外国人の在留資格別構成）】



※本表での n は外国人の総雇用人数を表す。

(5) 外国人を雇用している（今後雇用したい）理由

(5) 外国人を雇用している（または雇用したい）理由についてお答えください。

【あてはまるもの全てに○】

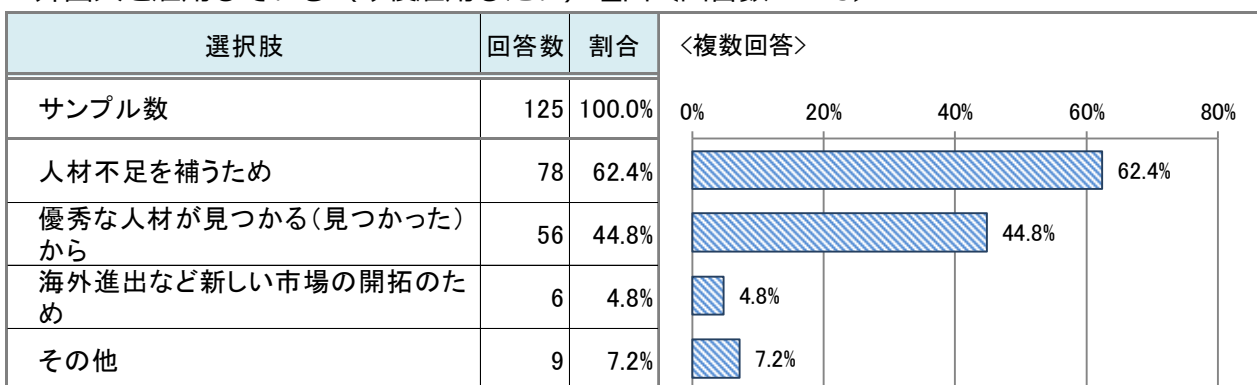
外国人を雇用している（今後雇用したい）理由については、「人材不足を補うため」が62.4%と最も高く、次いで「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が44.8%、「その他」が7.2%の順となっている。

前回調査との比較では、「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が13.8ポイント増加している。

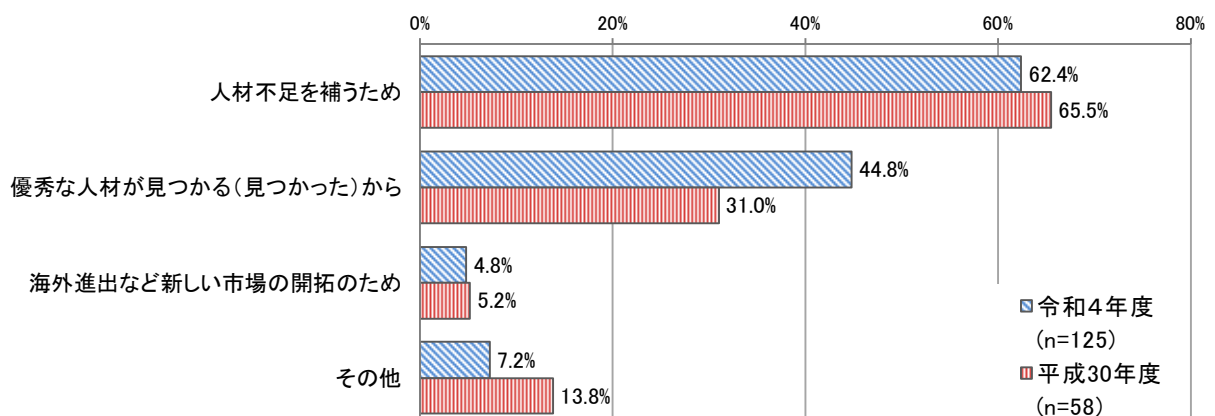
業種別でみると、サンプル数が限られるが、〈医療、福祉〉と〈その他〉で「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が、それ以外の業種で「人材不足を補うため」が、それぞれ最も高くなっている。

従業員規模別でみると、〈50～99人〉で「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が、その他の層で「人材不足を補うため」が、それぞれ最も高くなっている。

■外国人を雇用している（今後雇用したい）理由〔回答数=125〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人を雇用している（今後雇用したい）理由）】

※ は第1位、 は第2位、 は第3位の項目

上段:回答数 下段:回答割合(%)		合計	人材不足を補うため	優秀な人材が見つかる (見つかかった)から	海外進出などのため新しい市場	その他
業種別	建設業	18	16	6	0	0
		100%	88.9%	33.3%	0.0%	0.0%
	製造業	6	4	3	0	0
		100%	66.7%	50.0%	0.0%	0.0%
	卸売業、小売業	22	17	11	1	1
		100%	77.3%	50.0%	4.5%	4.5%
	宿泊業、飲食サービス業	20	15	10	1	0
		100%	75.0%	50.0%	5.0%	0.0%
従業員規模別	医療、福祉	14	7	9	0	2
		100%	50.0%	64.3%	0.0%	14.3%
	サービス業	26	15	8	1	3
		100%	57.7%	30.8%	3.8%	11.5%
	その他	19	4	9	3	3
		100%	21.1%	47.4%	15.8%	15.8%
	9人以下	23	15	9	2	2
	100%	65.2%	39.1%	8.7%	8.7%	
従業員規模別	10～29人	48	31	22	2	2
		100%	64.6%	45.8%	4.2%	4.2%
	30～49人	18	14	8	1	2
		100%	77.8%	44.4%	5.6%	11.1%
	50～99人	14	5	9	0	1
		100%	35.7%	64.3%	0.0%	7.1%
従業員規模別	100～299人	11	7	4	0	1
		100%	63.6%	36.4%	0.0%	9.1%
	300人以上	11	6	4	1	1
	100%	54.5%	36.4%	9.1%	9.1%	